令和3年度 第7回 新道区地域協議会

次 第

日時:令和4年3月24日(木) 午後6時から

会場:新道地区公民館 多目的ホール

延べ1時5分

1 開 会

【2分】

2 議 題

(1) 報告事項

○ 内水ハザードマップの作成について

【15分】

- (2) 協議事項
 - 自主的審議のテーマについて

1) 前回会議の振り返り

【15分】

2) 審議テーマの絞り込み

【30分】

(3) その他

3 その他

(1) 次回開催日の確認等

【3分】

▶ 日時: 月 日()午後6時から▶ 開場:新道地区公民館 多目的ホール

➤ 内容:自主的審議など

(2) その他

4 閉 会

新道区のアイコトバ

- ◎ 発言は、簡潔に話そう!
- ◎ 発言しやすい雰囲気をつくろう!
- ◎ 個人の意見を平等に扱おう!

令和4年3月24日

新道区地域協議会説明資料

下水道建設課

令和3年度 内水ハザードマップの作成について

1 背景と目的

- ・ 市内では、局地的な短時間豪雨や台風により、浸水被害が多発
- ・ ハード整備を計画的に進めているが、整備水準を上回る降雨が頻繁に発生するため、 ソフト対策を併せて実施することが必要
- ・ 内水による浸水に関する情報、避難に関する情報を提供し、住民の円滑な避難や自助・ 共助を促し、浸水被害の最小化を図る

2 作成のポイント(直営で作成)

- (1) 学習面
 - ・ 「知る、学ぶ、備える」のテーマ毎に情報を記載
 - ・ 洪水と内水の違いなどを明記し、洪水ハザードマップとの整合性も確保
- (2) 地図面
 - ・ 浸水実績を活用した浸水区域の表示
 - ・ 対象地区の全町内会(新道区 22 町内)に対し、浸水実績調査(聞き取り)を行い、市 が把握している浸水情報の不足を補完

3 活用方法

- (1) 防災教育の推進
 - ・ 住民一人ひとりが日頃から内水ハザードマップを確認し、自宅周辺や身近な場所での 浸水箇所、避難場所、避難のタイミング、降雨や河川水位等について理解を深めても らう
 - ・ 町内会や自主防災組織での防災訓練等において、防災意識の向上や住民の自助・共助 の促進を促す
- (2) 浸水被害の軽減
 - ・ 止水板設置や床下を高くするなどの建築上の配慮、不動産取引などの土地利用誘導へ の活用のほか、浸水対策に関する計画策定への活用

4 今後の予定

- ・ 3月下旬 市ホームページで公表
- 5月下旬 町内会へ配布(町内会館への掲示、全戸配布を検討)



上越市【新道区】

内水ハザードマップ (浸水)

都市整備部下水道建設課





内水ハザードマップ 知る

上越市では、雨水を流す下水道管や道路側溝等から あふれ出すほどの強い雨が降ったとき、また河川水位が 上昇し排水ができなくなったときに浸水被害(内水はん 濫)が発生しています。

この内水ハザードマップは、「どこで浸水被害が起きて いるのか」、「どこに避難すればよいのか」などの情報共 有や日頃から自分の命や財産は自分で守るという「自助」 協力してお互いの命や財産を守るという「共助」の意識向 上を図ることを目的として作成しました。

お住まいの土地やその周辺、生活に関わりのある場所 での内水による浸水被害を最小限に抑えるため、ご家族 や地域の皆さんで日頃からこの内水ハザードマップをご 確認ください。

雨の強さと内水の生じ方 知る

1時間雨量	予報用語	人の受けるイメージ	内水はん濫の生じ方	
10~20mm	やや強い雨	ザーザーと降る雨		ゆっくりと溜まる (河川水位が上昇している場合、この 程度の雨でも内水はん濫が生じる)
20~30mm	強い雨	どしゃ降り		河川上流域で強い雨
30~50mm	The state of the s	バケツをひっくり返 したように降る雨		が降っている場合など、 ご自宅周辺が少雨でも 河川水位が上昇し、内
50~80mm	非常に激しい雨	滝のように降る (ゴーゴーと降り続 く)		水はん濫が発生することがあります。
80mm~	猛烈な雨	息苦しくなるような 圧迫感がある 恐怖を感じる		速く溜まる

■内水はん濫

知る

大量の降雨により、下水道管や道路側溝などで雨水を 流し切れない場合や河川の水位上昇により排水路の樋 門などを閉めて排水できない場合に、雨水が溜まりだし、 土地や建物が水に浸かることを言います。

はん濫とは

地形などを踏まえ、その時の浸水状況に応じ、建物上 層階や指定緊急避難場所への避難が必要となります。





■外水はん濫(洪水)

大雨によって河川の水位が高くなると堤防を越えて水 があふれたり、堤防が決壊したりすることで、市街地など が水に覆われることを言います。

時間経過の視点で見た場合、内水はん濫よりも後に生 じることが一般的です。

⇒上越市洪水ハザードマップ参照







まで水が増え ると、堤防に 水の圧力がか かり始めます

力に堤防が耐え られなくなり、

堤防の一部が崩

れ始めます。

気に拡がり、勢 いよく水が流れ 出し、家などに 襲いかかります。

洪水ハザ 水ハザ -ドマップで確認 ドマップで確認

平

常

時

雨

時

水

の

恐

れ

が

へ車を移動

備える ハザードマップの活用

◆ハザードマップを確認しましょう ご家族や地域の皆さんで自宅の周辺などの内水は

ん濫や洪水が発生したときに、危険となる箇所を事前に 確認してください。

また、「いつ、何をするのか」をマイ・タイム ライン(時系列の避難行動)を作成するなど 事前に備えておきましょう。

日頃から防災意識を持つ •確認事項

- →浸水の起きた箇所や起きる 可能性のある箇所
- →避難場所やそこまでの道順
- →情報収集の方法
- 避難時持出品の準備
- ・避難訓練への参加
- ・ 土のうなどの準備



大雨に関する情報を知ったとき

- 引き続きテレビなどで情報収集
- 不足品の買い出し
- ・ 土のうなどの設置
- ・浸水の可能性が 低い安全な場所



降雨情報等の収集 学ぶ

●情報収集の重要性

内水はん濫が発生する要因として、短時間に多くの雨 が降ることや河川水位が上昇し河川に雨水が排水されな いことなどがあげられます。そのような状況が予想される ときやそのような状況下に置かれたときは、積極的に情報 を収集し、自身を守る行動につなげることが重要です。

●情報の入手方法

テレビやラジオ、パソコン、携帯電話などから最新の気 象情報を入手、確認しましょう。

また、災害に備え、日頃からパソコン、携帯電話でホー ムページの見方を確認するなど、気象情報等を確実に入 手できるようにしておきしましょう。上越市公式SNSでも情 報発信していますので、ご活用ください。

●上越市安全メール

防災や防犯、交通安全などの地域安全情報のメールの 配信を行っています。希望の方は、随時募集していますの で、登録手続きを行ってください。

登録方法 登録方法は下記の2通りです。

anzen.joetsu-city@raiden.ktaiwork.jp

または右記のQRコードからアクセスして空メールを 送信してください。送信メールアドレス宛てに案内の メールが届き、メール本文に記載されたURLのペー ジにアクセスします。表示された登録画面の指示に

従い、登録してください。 ②市役所市民安全課、南・北出張所、各総合事務所 窓口に、申請書を提出してください。



情報の入手先 ●ホームページ等

学ぶ

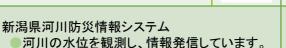
上越市防災情報リンク集 ●自主避難の判断に必要な気象情報などへ のリンク集を掲載しています。		
上越市雨水排水路水位情報 ●雨水排水路の水位を観測し、情報 います。	発信して	

上越市公式Twitter、公式LINE ●災害情報や市からのお知らせ

を発信しています。

とめたものです。





上越市洪水ハザードマップ

●河川氾濫による浸水深、避難場所などをま





積極的な情報収集



情報活用による 早めの避難行動

備える 防災関係機関等

●市の継問

機関名	住所	TEL			
上越市役所	木田1-1-3	025-526-5111			

▶警察・消防・医療機関

機関名	住所	TEL
上越警察署	藤野新田1172	025-521-0110
上越消防署	藤野新田330-1	025-544-0119
上越南消防署	北城町1-16-1	025-525-1198
上越南消防署高士分遣所	高津424-2	025-528-4044
県立中央病院	新南町205	025-522-7711
新潟労災病院	東雲町1-7-12	025-543-3123
上越総合病院	大道福田616	025-524-3000
上越地域医療センター病院	南高田町6-9	025-523-2131
上越休日·夜間診療所	新光町1-8-11	025-522-3777

●国・県の機関

機関名	住所	TEL
国土交通省高田河川国道事務所	南新町3-56	025-523-3136
新潟地方気象台	新潟市中央区美咲町 1-2-1	025-281-5871
陸上自衛隊高田駐屯地	南城町3-7-1	025-523-5117
新潟県上越地域振興局	本城町5-6	025-526-9503

大雨が降っているとき

- 引き続きテレビなどで雨量や河 川水位の情報収集
- •水にぬれて困るものを、建物上 層階へ上げる
- 不要不急の外出をしない ※一般的に内水の浸水深は深 くならないため、建物上層階へ の垂直避難を優先してください。 ただし、平屋や洪水の可能性が あり垂直避難では不十分な状 況が予想されるときは、避難所 へ避難してください。

河川水位の上昇が止まらず洪水 の恐れがあるとき

- 引き続きテレビなどで雨量や河 川水位の情報収集
- 避難所へ避難するときは、でき るだけ近所の高齢者や病人、体 の不自由な人、外国人へ声を掛 け協力して集団行動を心がける



